

資料6 自己評価シート

自動車機械部品製造業

自己評価シート

氏名

部門	職務名	仕事名	作業名	作業に必要な主な知識及び技能・技術	自己評価欄 (○or×)	
生産	製造	作業の安全確保	機械装置の取り扱い	機器を安全に取り扱ることができる		
				回転部分を有する機械装置の危険性を知っている		
				安全装置、安全カバーの取り扱いを知っている		
				保護めがねの着用の必要性を知っている		
				停電時に機械スイッチを切ることの徹底ができる		
				主電源スイッチを知っている		
			停電時の緊急用照明設備を知っている			
			工具の取り扱い	工具の安全な使用ができる		
				工具類の整理整頓について知っている		
				工具の正しい使用方法を知っている		
			災害(感電・火災)防止	感電・漏電防止対策ができる		
				感電事故の危険性を知っている		
				火災防止対策ができる		
				油の危険性を知っている		
			毒物、劇物等化学物質の取り扱い	薬品の保管管理ができる		
				局所排気設備の適正な使用方法について知っている		
				こぼれたり、飛散した場合の適切な回収・処理方法を知っている		
			保護具の準備・確認	運搬に適切な容器、運搬車等を知っている		
		作業に合わせた保護具の準備・確認ができる				
		作業ごとの安全リスクを知っている				
		部品加工	加工全般	加工全般	作業に合わせた保護具(手袋、めがね、マスク、保護帽、安全靴)の種類と用途を知っている	
					加工図面を読むことができる	
					図面のJISやISO規格を知っている	
					寸法公差・幾何公差等を知っている	
					材料記号および材料の種類を知っている	
					加工することができる	
					加工に必要なジグについて知っている	
加工工程について知っている						
加工条件について知っている						
安全衛生法に係る特別教育について知っている						
切断加工	加工前点検を実施することができる					
	加工前点検事項について知っている					
	点検実施方法について、知っている					
	切断加工ができる					
	各種機械の操作方法および加工方法を知っている					
	安全作業について知っている					
	工具の特性について知っている					
	材料の特性について知っている					
	工具と材料から最適な加工条件を導き出す術を知っている					
加工後の処理ができる						
鍛造加工	加工後の製品の取り扱い方法について知っている					
	加工物の危険箇所の除去について知っている					
	機械の保全について知っている					
	加工前点検を実施することができる					
	加工前点検事項について知っている					
	点検実施方法について、知っている					
	加熱準備ができる					
	加熱方法を知っている					
	鋼材の種類及び性質を知っている					
鍛造機の段取りができる						
鍛造加工	鍛造の条件設定の関連技術を知っている					
	鍛造の方法、種類(冷間鍛造、熱間鍛造等)と特徴を知っている					
	鍛造加工ができる					
	機械の操作方法および加工方法を知っている					
	安全作業について知っている					
	加工条件について知っている					
	打撃数やプレス等の調整について知っている					
	金型の取扱いについて知っている					
	金型と材料から最適な加工条件を導き出す術を知っている					
	加工後の処理ができる					
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている					
	加工物の危険箇所の除去について知っている					
	機械の保全について知っている					

鑄造加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	加熱準備ができる	
	加熱方法を知っている	
	鋼材の種類及び性質を知っている	
	鑄造機の段取りができる	
	鑄造の条件設定の関連技術を知っている	
	鑄造の方法、種類と特徴を知っている	
	鑄造加工ができる	
	機械の操作方法および加工方法を知っている	
	安全作業について知っている	
	加工条件について知っている	
	溶融温度、冷却について知っている	
	型の取扱いについて知っている	
	型と材料から最適な加工条件を導き出す術を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	
旋盤加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	各種切削加工ができる	
	安全作業について知っている	
	各種材料の被削性を知っている	
	切削条件の3要素を知っている	
	旋盤各部の名称と機能を知っている	
	刃物の取り付け方法を知っている	
	部品形状に適した取り付け方法を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	
NC旋盤加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	段取りができる	
	材料の取り付けについて知っている	
	切削工具の取り付けについて知っている	
	エアカットについて知っている	
	加工ができる	
	安全作業について知っている	
	プログラムを知っている	
	加工条件について知っている	
	座標系について知っている	
	刃先R補正機能について知っている	
	各種補正機能の設定について知っている	
	切削現象(切りくず処理・びびり)について知っている	
	寸法調整の方法を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
加工物の危険箇所の除去について知っている		
機械の保全について知っている		
フライス加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	各種切削加工ができる	
	安全作業について知っている	
	各種材料の被削性を知っている	
	切削条件の3要素を知っている	
	フライス盤各部の名称と機能を知っている	
	刃物の取り付け方法を知っている	
	部品形状に適した取り付け方法を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	

マシニングセンタ加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	段取りができる	
	材料の取り付けについて知っている	
	切削工具の取り付けについて知っている	
	エアカットについて知っている	
	加工ができる	
	安全作業について知っている	
	プログラムを知っている	
	加工条件について知っている	
	座標系について知っている	
	工具径補正機能について知っている	
	各種補正機能の設定について知っている	
	切削現象(切りくず処理・びびり)について知っている	
	寸法調整の方法を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	
歯切加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	歯切加工ができる	
	各種機械の操作方法および加工方法を知っている	
	安全作業について知っている	
	工具の特性について知っている	
	材料の特性について知っている	
	工具と材料から最適の加工条件を導き出す術を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	
	穴加工	加工前点検を実施することができる
加工前点検事項について知っている		
点検実施方法について、知っている		
穴加工ができる		
各種機械の操作方法および加工方法を知っている		
安全作業について知っている		
工具の特性について知っている		
材料の特性について知っている		
工具と材料から最適の加工条件を導き出す術を知っている		
加工後の処理ができる		
加工後の製品の取り扱い方法について知っている		
加工物の危険箇所の除去について知っている		
機械の保全について知っている		
研削加工(平面・円筒・成形)		加工前点検を実施することができる
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	砥石のバランス取りの方法を知っている	
	研削ができる	
	安全作業について知っている	
	適切な研削法を知っている	
	研削盤各部の名称と特徴を知っている	
	ドレッシング量と切り込み量の関係を知っている	
	目づまり・研削焼けの原因を知っている	
	加工後の処理ができる	
	加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
	加工物の危険箇所の除去について知っている	
	機械の保全について知っている	
溶接加工	加工前点検を実施することができる	
	加工前点検事項について知っている	
	点検実施方法について、知っている	
	溶接作業の準備ができる	
	使用するシールドガスの種類について知っている	
	溶接棒・ワイヤについて知っている	
	安全関係(法令等)について知っている	
	スポット溶接ができる	
	溶接条件(電流・圧力・圧接時間等)の設定方法について知っている	
	適正な電極先端形状について知っている	
	アーク溶接ができる	
	溶接条件(電流・電圧等)の設定方法について知っている	
	製品の形状・構造・重量に合わせた溶接用ジグの選定について知っている	
	TIG溶接ができる	
溶接条件(電流・速度・ガス流量等)の設定方法について知っている		

		製品の形状・構造・重量に合わせた溶接用ジグの選定について知っている	
		レーザー溶接ができる	
		溶接条件の設定方法について知っている	
		製品の形状・構造・重量に合わせた溶接用ジグの選定について知っている	
		電子ビーム溶接ができる	
		溶接条件の設定方法について知っている	
		製品の形状・構造・重量に合わせた溶接用ジグの選定について知っている	
		各種真空装置の取扱いを知っている	
		加工後の処理ができる	
		溶接欠陥について知っている	
		歪を考慮した溶接方法について知っている	
		加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
		加工物の危険箇所の除去について知っている	
		機械の保全について知っている	
	プレス加工	加工前点検を実施することができる	
		加工前点検事項について知っている	
		点検実施方法について、知っている	
		プレス加工ができる	
		各種機械の操作方法および加工方法を知っている	
		安全作業について知っている	
		工具の特性について知っている	
		材料の特性について知っている	
		工具と材料から最適の加工条件を導き出す術を知っている	
		加工後の処理ができる	
		加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
		加工物の危険箇所の除去について知っている	
		機械の保全について知っている	
	レーザー加工	加工前点検を実施することができる	
		加工前点検事項について知っている	
		点検実施方法について、知っている	
		レーザー加工ができる	
		各種機械の操作方法および加工方法を知っている	
		安全作業について知っている	
		アシストガスの特性について知っている	
		材料の特性について知っている	
		レーザーマーキング方法を知っている	
		加工後の処理ができる	
		加工後の製品の取り扱い方法について知っている	
		加工物の危険箇所の除去について知っている	
		機械の保全について知っている	
	運搬	安全な運搬ができる	
		クレーンの安全作業を知っている	
		玉掛けの安全作業を知っている	
		フォークリフトの安全作業を知っている	
熱処理	各種熱処理	材料の適切な積み込みができる	
		部品形状に適したバケットへの積み込み方法を知っている	
		重量物の積み込み方法を知っている	
		各種積み込み用ジグを知っている	
		化学物質の安全な取り扱いができる	
		各種化学物質の危険性を知っている	
		化学物質に関する法規制を知っている	
		各種化学物質の取り扱い方法を知っている	
		熱処理炉のメンテナンスができる	
		温度計器の調整方法を知っている	
		圧力容器の保管方法を知っている	
		消火・防火機器のメンテナンス方法を知っている	
		熱処理工程を設定できる	
		各種熱処理の特徴を知っている	
		品質変動の要因を知っている	
		熱処理品の品質検査方法を知っている	
		各種熱処理の温度設定ができる	
		各種熱処理作業の加熱温度を知っている	
		各種熱処理作業の加熱保持時間を知っている	
		脱炭現象を知っている	
		各種熱処理の冷却方法の選定ができる	
		各種冷却方法の特徴を知っている	
		焼割れ・ひずみの原理を知っている	
		各種金属の質量効果を知っている	
	高周波焼き入れ	高周波焼き入れができる	
		硬化層の深さに合わせた周波数及び電源形式を知っている	
	浸炭・窒化	浸炭・窒化ができる	
		浸炭焼き入れで硬化深さを均一にするためC%の調節方法を知っている	
		窒化温度を知っている	
	運搬	安全な運搬ができる	
		クレーンの安全作業を知っている	
		玉掛けの安全作業を知っている	
		フォークリフトの安全作業を知っている	

自己評価シート

氏名

部門	職務名	仕事名	作業名	作業に必要な主な知識及び技能・技術	自己評価欄 (OorX)
品質	品質保証・品質管理	品質管理計画	品質管理計画の立案	品質管理方針を練ることができる	
				会社の理念を踏まえた品質管理の方向を知っている	
				製品(商品)に求められている品質を知っている	
				活用可能な規格(IATF 16949など)を知っている	
				品質管理計画の立案ができる	
				設計・計画時の品質管理プロセスを知っている	
				製造・サービス提供現場の品質管理プロセスを知っている	
				検査による品質管理プロセスを知っている	
				品質保証維持のための年次計画の立案ができる	
				品質保証体制の構築方法を知っている	
			品質データの評価結果から品質監査年次計画のフィードバック方法を知っている		
			品質監査計画の立案または改善ができる		
			品質監査計画に基づく改善の具体策を知っている		
			品質監査結果の分析手法を知っている		
			品質監査のフィードバック方法を知っている		
			品質マネジメントシステムの構築	品質管理体制の立案ができる	
			顧客の要求品質を知っている		
			品質マネジメントにおいてリーダーシップが必要な部分がどこかを知っている		
			品質マネジメントにおいて従業員の参画が必要な部分がどこかを知っている		
			経営資源の最適配分による品質管理を知っている		
		部門間の役割分担等による品質管理を知っている			
		品質の継続的改善による品質管理を知っている			
		品質データの蓄積と評価の仕組みの構築方法を知っている			
		材料・部品等の調達先との共有すべき部分がどこかを知っている			
		各種認証制度(IATF 16949など)の申請ができる			
		各種認証制度取得のメリット・デメリットを知っている			
		各種認証制度取得及び維持のための事務体制を知っている			
		品質管理委員会の運営ができる			
		各品質データの分析結果を知っている			
		規格(JIS、社内規格等)を知っている			
		各顧客の要求品質レベルを知っている			
		品質及び業務管理の社内標準化ができる			
		各種指示書を知っている			
		各種認証制度に基づく標準化を知っている			
		外注取引会社に対する品質向上策の立案ができる			
		外注取引会社の技術水準を知っている			
		購入品、外注品に対する要求品質を知っている			
		品質管理活動	技術変更(EC)の管理	各部署からの技術変更通知を承認できる	
				技術変更の重要性を知っている	
				各品質データの分析結果を知っている	
				規格(JIS、社内規格等)を知っている	
				各顧客の要求品質レベルを知っている	
			品質データ管理	各品質データの分析及び評価ができる	
				品質データの収集・蓄積方法を知っている	
				図面、資料の管理方法を知っている	
				品質データの分析結果の対策の起案ができる	
				品質管理情報を伝達すべき工程を知っている	
		品質データ分析結果のフィードバック手続きを知っている			
	QC(品質管理)活動	QCサークルなどの小集団の組織づくりができる			
		QCの目標、テーマ、期限、メンバーの役割分担の重要性を知っている			
		QC活動の必要性や背景を知っている			
		QC管理のプロセスにおけるPDCAサイクルを知っている			
		組織の中でラインとスタッフがそれぞれ役割に沿った活動を推進することができる			
		全社的品質管理(CWQC)を知っている			
		統計的品質管理(SQC)や総合的品質管理(TQC)を知っている			
		品質管理統計関連分析手法(管理図、散布図、特性要因図等)を知っている			
	製品検査基準の作成	製品検査基準や検査作業マニュアルの作成ができる			
		製品仕様を知っている			
		製品仕様を満たす検査方法を知っている			
	苦情対応管理	不具合対応ができる			
		顧客への連絡方法、連絡すべき範囲を知っている			
		生産工程への連絡方法、連絡すべき範囲を知っている			
		安全性に関してユーザーへの情報伝達を的確に実施できる			
		PL(製造物責任)やPLP(PL事故予防)とは何かを知っている			
		不良品対策の立案及び生産現場への展開ができる			
		不適合品の発生に関する問題点を知っている			
		クレームの解析ができる			
		不適合品に対する実態調査(統計処理等)、分析手法を知っている			
		クレーム見解書として作成すべき項目を知っている			
		対応するサービス部品を知っている			

出荷対応	出荷対応	出荷品の現状を確認できる			
		出荷時の仕様を知っている			
		稼働状況を知っている			
		不具合履歴を知っている			
		生産工程の履歴が追跡できる			
		生産工程の履歴の調査方法を知っている			
		生産工程の不具合発生の可能性を知っている			
		安全作業を知っている			
		不良品予防対策	不良品の発生状況の予測ができる		
	統計を用いた品質解析手法を知っている				
	品質不良原因の分析する手法を知っている				
	予防処置の目的、重要性を知っている				
	技術変更通知書の作成ができる				
	受入れ検査・対応	受入れ検査・対応	受入れ品の検査ができる		
			受入れ品の仕様を知っている		
			受入れ品の管理ができる		
			受入れ品の納入履歴を知っている		
			受入れ品の納入部署を知っている		
受入れ品の不具合対応ができる					
関係部署への連絡方法、連絡すべき範囲を知っている					
測定・検査			測定機器準備	測定準備作業ができる	
				図面の読み方を知っている	
		測定と検査を知っている			
		測定分野に関する規格を知っている			
		測定機器を選定することができる			
		各種測定機器の測定原理を知っている			
		各種測定機器の分解能を知っている			
		各種測定機器の測定誤差の発生原理を知っている			
		各種測定機器の調整作業ができる			
各種測定機器の正常・異常状態を知っている					
各種測定機器の校正方法を知っている					
校正結果の記録方法を知っている					
各種測定機器を使うことができる					
各種測定機器の取り扱い方法を知っている					
各種測定機器の測定値の読み方を知っている					
寸法測定	寸法測定	図面から測定方法を決定できる			
		寸法公差を知っている			
		表面性状を知っている			
		幾何公差を知っている			
		寸法測定ができる			
		各種測定器の原理を知っている			
		各種測定器の取り扱いを知っている			
		測定誤差の発生原因を知っている			
		表面性状・形状測定	表面性状測定ができる		
	表面性状測定機の原理を知っている				
	表面性状測定機の取り扱いを知っている				
	測定誤差の発生原因を知っている				
	形状偏差測定ができる				
	各種形状偏差測定器の原理を知っている				
	三次元測定	三次元測定	各種形状偏差測定器の取り扱いを知っている		
測定誤差の発生原因を知っている					
測定機の操作ができる					
測定機各部の名称と機能を知っている					
CADデータの取得方法を知っている					
計測プログラムの作成方法を知っている					
測定結果の分析方法を知っている					
測定機の精度管理ができる					
測定誤差を知っている					
硬さ試験		試験機の測定精度を知っている			
		定められたプロセスにしたがった校正作業を知っている			
		硬さ試験機の操作ができる			
		各種(ブリネル、ピッカース等)硬さ試験の選定方法を知っている			
		各種硬さ試験機各部の名称と機能を知っている			
		硬さ試験値の換算方法を知っている			
強度試験	強度試験	硬さ試験機の精度管理ができる			
		測定誤差を知っている			
		試験機の測定精度を知っている			
		定められたプロセスにしたがった校正作業を知っている			
		強度試験機の操作ができる			
		各種(引張、曲げ、衝撃、疲労等)強度試験の選定方法を知っている			
		各種強度試験機各部の名称と機能を知っている			
		測定結果の分析方法を知っている			
		強度試験機の精度管理ができる			
	強度試験	測定誤差を知っている			
		試験機の測定精度を知っている			
		定められたプロセスにしたがった校正作業を知っている			

		非破壊試験	非破壊試験機の操作ができる		
			各種非破壊試験の選定方法を知っている		
			各種非破壊試験各部の名称と機能を知っている		
			測定結果の分析方法を知っている		
			非破壊試験機の精度管理ができる		
			測定誤差を知っている		
			試験機の測定精度を知っている		
			定められたプロセスにしたがった校正作業を知っている		
			測定結果のまとめができる		
		評価	評価	データ処理方法を知っている	
				検査の合否判定ができる	
				合否判定の基準を知っている	
		測定器管理	計測器の精度管理	測定器の取り扱いができる	
				各種測定器の構造を知っている	
				測定誤差を知っている	
				測定器の測定精度を知っている	
				定められたプロセスにしたがって校正ができる	
				各種測定器について検査方法を知っている	
				各種測定器の校正方法を知っている	
				測定器の管理ができる	
				トレーサビリティを知っている	
				測定の不確かさを知っている	
				社内規定文書の作成を知っている	
				校正、検査の実施に適切な環境条件を決定できる	
				測定誤差について知っている	
				熱膨張による変形について知っている	
				測定器の測定精度を知っている	
測定器の防錆等の対策法について知っている					

